

料金後納
郵便

第72期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

パイオニア株式会社

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

濡れている場合は乾かしてからはがして下さい

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期の連結業績

当中間期の売上高は、カーナビゲーションシステムの減少等により、前年同期比7.5%減の1,762億円となりました。利益につきましては、原価率の良化や販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は35.2%増の20億円となりましたが、親会社株主に帰属する当期純損益は、為替差損の計上や、下期に予定していた事業構造改善費用の一部を前倒しで計上したことなどにより、前年同期の10億円の利益から26億円の損失となりました。

成長戦略の着実な推進

現在、当社におきましては、収益性の改善施策とともに、成長戦略を着実に推進しております。

OEM事業では、下期以降に本格化する大規模受注を見据え、原材料の調達から生産、販売までのサプライチェーン全体の最適化を進めております。さらに、安定的な収益確保に向け、継続的なコスト

ダウンの推進やIT化、自動化等による生産の効率化に加え、ソフトウェア開発の効率化に取り組んでおります。

市販事業では、売上拡大に向け、スマートフォン連携商品の拡充や、独自の先進運転支援システムによる新たな付加価値提案に注力するとともに、ハイレゾ音源の再生に対応するカーナビゲーションシステムの導入など、音を中心としたエンタテインメントを追求しております。また、先進運転支援システム“インテリジェントパイロット”や、法人車両向け運行管理サービス“ビーグルアシスト”など、クラウドを活用した業務用ビジネスの強化を図っております。

地図事業・自動運転関連では、国内外の自動車メーカー等に走行空間センサー「3D-LiDAR(ライダー)」のサンプル供給を開始したほか、オランダの地図および位置情報サービスのグローバルプロバイダーであるHERE Technologies(以下、HERE)と業務・資本提携を締結し、さらなる連携強化を図るなど、自動運転の実現に「なくてはならない会社」に向けた歩みを着実に進めております。

当期は、連結売上高3,800億円、営業利益100億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円を計画しております。数値計画の達成はもちろん、将来の成長に向けた事業基盤を強化することで、早期復配の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役 兼

社長執行役員

小谷 進

会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 パイオニア株式会社
 本社所在地 〒113-0021
 東京都文京区本駒込2丁目28番8号
 文京グリーンコート

資本金 917億3,171万4,430円
 従業員数 3,180名(単独)／17,085名(連結)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部) 証券コード:6773
 発行済株式総数 372,223,436株
 (注)発行済株式総数には自己株式5,031,972株を含んでいます。

株主総数 50,112名
 大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	27,886	7.59
株式会社NTTドコモ	25,773	7.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,703	6.72
ビーエヌピー パリパ セキュリティーズ サービスズ ルクセンブルク/ジャスデック/ヘンダーソン HHF SICAV	12,179	3.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,988	3.26

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して算出しています。

(ご参考)HEREとの業務・資本提携締結に伴い、平成29年10月5日現在で
 資本金は928億8,148万8,504円、発行済株式総数は383,340,936株
 になっています。

問い合わせ先 IR・広報部 証券業務課
 電話：(03)6634-8777(代表)
 Eメール：pioneer_shr@post.pioneer.co.jp

投資家情報サイトのご紹介



最新のニュースや財務情報など、様々な
 IR情報を掲載しています。

パイオニア 投資家情報 検索

<http://pioneer.jp/ir/>

トピックス

■ HEREと業務・資本提携を締結しました

当社は、HEREとの連携をさらに強化し業務提携の実効性を高めるため、本年9月、資本提携を締結しました。
 HEREはカーナビ用地図において、欧米で約8割のシェアを持つ企業です。

■ 業務提携

地図・自動運転関連を中心に 様々な事業領域で提携によるシナジーを創出

グローバル供給に向けた
デジタル地図サービス

自動運転を可能とする
高精度地図サービス

ドライバーの安全性を高める
テレマティクス保険市場向けサービス

以下の協業についても引き続き検討を推進

- ・ 当社の「3D-LiDAR」技術を活用し、自動運転用地図を更新・運用する「データエコシステム」の構築に向けた実証実験
- ・ 当社の市販製品で収集するデータをHEREの位置情報サービスで活用する検討

など

■ 資本提携

HERE：当社の新株式11,117,500株を17,343,300ユーロ
 (約23億円)で取得

当社：HEREの株式を同額相当で取得

■ 先進運転支援システム“インテリジェントパイロット”が 自動車保険向けサービスに採用されました

“インテリジェントパイロット”は、車の走行速度、場所や時間帯、天候、渋滞等から、交通事故のリスクを予測する「事故リスク予測プラットフォーム」と、通信・通話が可能なドライブレコーダー端末を常に連携させることで、ドライバーにリアルタイムな注意喚起や警告を行うシステムです。



万が一の事故発生時には、端末を通じて、提携するコールセンターに映像を自動送信することや、状況に応じて消防等への連絡を依頼することも可能です。このシステムは、東京海上日動火災保険株式会社の自動車保険向けサービス“ドライブエージェント パーソナル”に採用されています。

連結業績ハイライト

